

カメラトピックス

camera topics 市政の動きを写真で紹介

4月9日(火)



新たな歴史を紡いでいきます
今年度から学科再編と共学化を行った、鹿児島商業高等学校が入学式を行い、278人のフレッシュな新入生を迎えました。

4月12日(金)



能登半島地震の被災自治体を支援
石川県輪島市に交代で職員を派遣し、住宅の被害認定調査などを行いました。第一陣の出発式で、下鶴市長から職員に対し激励の言葉を送りました。

4月14日(日)



鎌倉市とのつながりを深めています
昨年締結した文化・観光交流協定による交流の一環として、鶴岡八幡宮などで行われた「鎌倉まつり」に初めて参加し、本市の観光PRなどを行いました。

4月24日(水)



高校生とまちづくりの意見交換
鹿児島情報高等学校で「市長と語る会」を開催。生徒が地域の課題解決のためのさまざまな取り組みを発表したほか、市長と意見交換を行いました。

4月26日(金)



鹿児島銀行とデジタル化推進の連携協定締結
行政・金融のそれぞれの強みを生かしながら、連携して本市のデジタル化を推進し、地域課題の解決や市民サービスの向上を図ります。

5月10日(金)



鹿児島レブナイズのB2昇格を祝福
監督や選手らが市役所を訪問し、2023-24シーズン終了とB2昇格を報告。到着時には職員らが花道をつくり、温かい拍手で出迎えました。

生き生き！ マグマシティ



本市にゆかりのある人や地域で活躍する市民の皆さんを紹介します



防災カフェ cafe+zakka
CHABANA 茶花

店主
吉永 めぐみ さん

数々の被災地支援を経験し、防災情報を発信できる場所として易居町に「防災カフェ」をオープン。暮らしの中に防災を取り込んで欲しいと願う吉永さんに、お話を伺いました。



▲店内にある防災を取り入れたキッチン。ワークショップや保存食の調理などに使用される

■ 東日本大震災での経験

北海道で民宿を経営していた頃に震災が起きました。自分にはできないことはないかと考え、宿仲間と協力し、北海道の美瑛町に石巻市の避難所から約60人を招待しました。その後も交流を続け、何度も被災地を訪問することで得た防災情報や、災害時に役立つ暮らしのヒントなどを伝えたいと、「防災カフェ」を始めました。

■ 人と気軽につながる場所に

カフェでは、防災グッズの販売はもちろん、ワークショップを開催し、防災の情報を共有することで、被災地でつながってきた人たちの思いを伝えたいと思っています。ここが、つらい時や寂しい時にも居心地のいい場所になると嬉しいです。自然災害に対する備えだけではなく、人とつながることも防災だと私は思います。



CHABANA 茶花 Instagram

市LINE公式アカウント

災害時の緊急情報などを確認できます。



市長からのメッセージ

本格的な雨のシーズン 家庭でも防災の備えを

能登半島地震の発生から5カ月が経ちました。被災地では懸命な復旧・復興の努力が今も続いており、本市では現在までに140人を超える職員が現地の支援活動に従事しています。

職員から報告を受けて痛感するのは、大災害による被害は想像を超えるものであり、生活の各方面にわたって大変な不便を強いられるという事です。本市では今年度、大規模災害時の避難所生活への備えについて、さらなる充実を図っています。段ボール製ベッドや断水時にも利用可能なマンホールトイレを増やすとともに、新たに医療用機器にも使用できる蓄電池の備蓄を進めています。

また、能登半島地震の課題も踏まえ、今年度の防災訓練では、事業者の皆さんとともに、救援物

資の受入から避難所への輸送について手順の確認を行いました。

各ご家庭でも、最低3日分の水や食料などの備蓄が推奨されていますので、今回お配りした防災リーフレットを参考に、ぜひ実践していただきたいと思っています。

これから本格的な大雨や台風のシーズンを迎えます。地域ぐるみで防災の備えに取り組みましょう。



鹿児島市長 下鶴 隆央